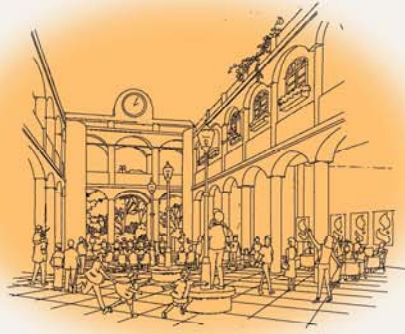


■コアエリアの活動と整備のイメージ

□喝采（挑戦）の間



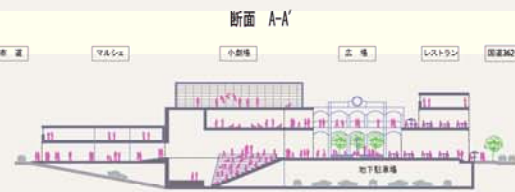
○今日は幼稚園の発表会。先生のピアノに合わせて、練習してきたダンスを舞台で披露。お父さん、お母さん、おじいちゃんやおばあちゃんから拍手を浴びて、誇りしげな笑顔の子供たち。

○2階のテラスや3階の窓から顔を出す大勢の人たち。一番張り切っているのはお父さん。並べた椅子から立ち上がり、携帯やビデオを片手にうちの子の輝く舞台を撮さない。一人の子供が舞台から逃げ出した。お星様にポルティコの下のレストランで打合せしていたお客さんも、思わず大笑い。

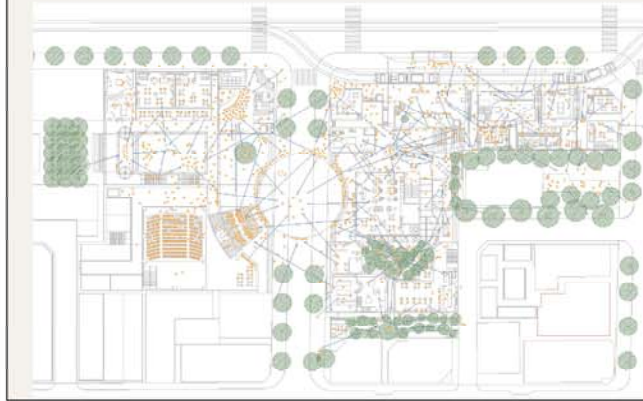


○夜、カーテンコールに鳴り止まない拍手と歓声が広場を満たす。向かいのレストランの人々も視線を外に投げかける。いつか自分も、階段で奏でるギターに気持ちもこもる。

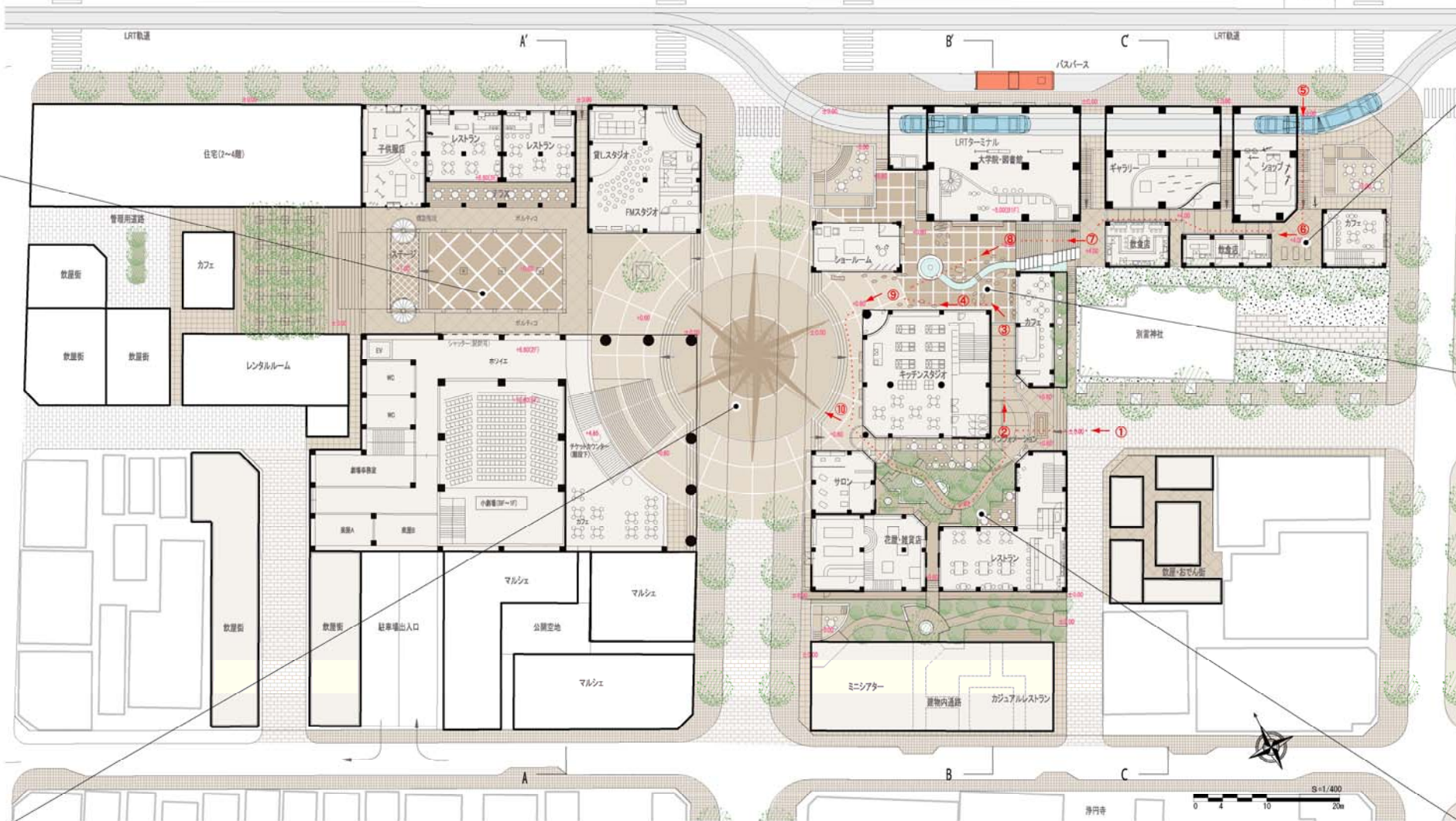
○小劇場のドアが開けられた。観客と一緒に街にあふれ出す。先ほどまで舞台上で演じていた役者も混じっている。皆知り合いのようだ。どの顔も満足げな表情。この余韻をどこで味わおう、このまま帰るのはもったいない。突然、屋上から「ゴールー！」の叫び声。思わず広場の人々も歓声で応じる。夜はこれから。さあ、おまちに繰り出そう。



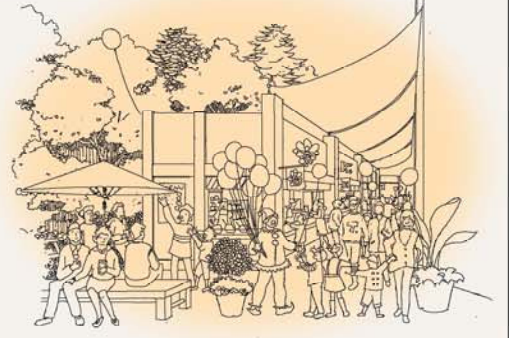
□まなざしの交差、活動の交差、想いの交差



□コアエリア北東上方からの俯瞰図

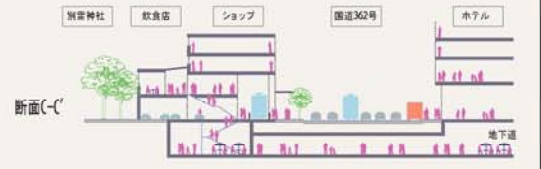


□歓迎の間



○LRTの車庫から、ビルの隙間の向こうに垣間見える古木、明るい笑顔。駅に着き、階段を上るといつか見た風景。背後の神社、路地の幅、あの日の緑の思い出が蘇る。

○たこ焼きの向こうには静岡おでんや富士宮焼きそばの屋台。そういえば外で食べると美味しく感じたもの。今日は行きかう人を眺めながら、若者に混じって2人でクレープでも食べることにしよう。



□成長の間



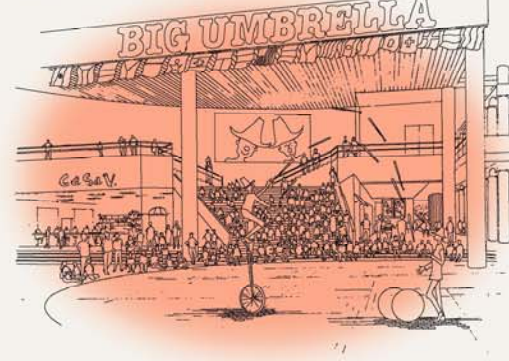
○屋下がり。暖かな日差しが降り注ぐいつもの広場に、いつもの人々が顔を合わせる。縁側、石を横たべたベンチ、奥の階段、思い思いの場所に腰を掛ける。夏を待ちきれない子供たちは、思わずパンツで水遊び。星型のパブリックアートや滝だつてよじ登る。

○子供たちを包むのは、お気に入りのエプロンをつけてキッチンスタジオで腕を磨く女性。図書館や学校で真剣に打ち込む若者。オープンゼミに集まった様々な世代の人たちが、ふと投げかける温かい視線。

○ついついこのカフェは長居してしまう。沸りに本を買って帰ろう。それともフライパンか。



□遭遇の間



○LRTの駅から、青葉通りから、七間町通りの北から南からどんどん人が集まってくる。大屋根の下の大階段は特等席。脚立まで用意している人もいる。丸くなくて埋め尽くす観客。視線の中心には昨年度の大賞のチャンピオン。

○FMスタジオのMCの合図で、オーロラビジョンに観客の顔がアップで映されると深のような熱気。次いで市民のクラウンのとびきりの笑顔。

○去年もこの場所でこのパフォーマンスを見た。今日もまた、あれが欲しいとせがまれるだろう。そしていつか参加したいと言う日が来るだろう。

□視線の変化

○建物の張り出しによる視界の通り、階段による高低差の変化、植栽や柱などによる見え隠れ、ガラス張りの建物による視線の通り... こうした様々な設えにより人が歩を進めるたびに視線の変化が生まれる。

○道の先が少し見える、奥のほうから歓声が聞こえる、食べ物の香ばしいにおいがする。歩くたびに色々な気付きがあり、道の奥に、広場の先がいざなわれる。

■コアエリア上空からの俯瞰図と人の動き



□懐抱の間



○こんなところにこんな広場が。大昔からあったような都市の隙間に、ずっと以前から住んで居たようにくつろぐ人々。

○花を整え、植木鉢を丁寧に並べなおす店員さん、注文に英語で答えるウエイター、髪を後ろに結んだウエイターが、店先のボードに今日のメニューを彩り豊かなチョークで書き込む。迎えられていると感じる。

○ディナーにはまだ早い。友人に連絡し、このデッキで本を読みながら、この時間を楽しまう。